

学年 学科	3年 全学科	科目 分類	社会と文化 Society and Culture	講義 必修	H24 通年 2単位	学習教育 目標 1	担当	野澤正信, 関野恵次 佐藤崇徳, 平田陽一郎	
概要	本科目は、国際社会を生きるにふさわしい教養を培うための総合科目である。我々がおかれている現代社会の風土、コミュニティ、社会構造、思想・文化を、哲学、歴史学、地理学、経済学などの人文・社会科学および自然科学をも含めた学際的な視点から論じる。社会の多面的な諸相に触れながら知的好奇心を高めさせることを目的とする。複数の教員が各々の専門分野から題材を選び7～8講を担当するオムニバス形式の授業科目である。								
科目目標 (到達目標)	世界の諸地域の風土、歴史、文化を理解し、多面的なものの見方ができる。 現代社会の諸問題に対して積極的に関心を持つことができる。								
教科書 器材等	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布するほか、ビデオ等を用いる。								
評価の基準と 方法	各教員が担当分について試験等で評価をおこない、それらを合算して全体の評価とする。								
関連科目	地理、歴史								
授業計画									
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)							
第1回		人間と自然	(1) 人間とは何か					担当：野澤正信	
第2回		〃	(2) 心とは何か					担当：〃	
第3回		〃	(3) 社会とは何か					担当：〃	
第4回		〃	(4) 古代の自然観：アナログか、デジタルか					担当：〃	
第5回		〃	(5) 中世の自然観：目的論					担当：〃	
第6回		〃	(6) 近代の自然観：機械論					担当：〃	
第7回		〃	(7) 現代の自然観					担当：〃	
第8回	×	【前期中間試験】							
第9回		日本の歴史	(1) 序章 歴史を学ぶ姿勢					担当：関野恵次	
第10回		〃	(2) 古代 古代国家の驚くべき達成					担当：〃	
第11回		〃	(3) 中世 争乱と活力					担当：〃	
第12回		〃	(4) 近世 庶民の力					担当：〃	
第13回		〃	(5) 近代Ⅰ 複雑な歴史的流れの単純化					担当：〃	
第14回		〃	(6) 近代Ⅱ 帝国主義理解のために					担当：〃	
第15回		〃	(7) 現代 軍部大臣現役武官制					担当：〃	
第16回	×	【前期末試験】							
第17回		日中交流二千年	(1) 倭奴国と邪馬台国					担当：平田陽一郎	
第18回		〃	(2) 三国志の世界					担当：〃	
第19回		〃	(3) 遣隋使					担当：〃	
第20回		〃	(4) 遣唐使					担当：〃	
第21回		〃	(5) 蒙古襲来					担当：〃	
第22回		〃	(6) 倭寇と勘合貿易					担当：〃	
第23回		〃	(7) 日清戦争から日中戦争へ					担当：〃	
第24回	×	【後期中間試験】							
第25回		企業と資本	(1) 会社って何？					担当：佐藤崇徳	
第26回		〃	(2) 株主とはどのような存在か？					担当：〃	
第27回		〃	(3) 株式市場と株価					担当：〃	
第28回		〃	都市と公共交通	(1) 都市と公共交通の現状と課題					担当：〃
第29回		〃	〃	(2) 広島市に見る都市内公共交通の実際					担当：〃
第30回		〃	〃	(3) 欧米で活用されているLRT					担当：〃
第31回		〃	〃	(4) 日本で新しい都市交通への取り組み					担当：〃
第32回	×	ものづくりの経済	セル生産方式「脱・大量生産の工場改革」					担当：〃	
第33回		後期末試験							
第34回		まとめ							
オフィス アワー	各教員のオフィスアワーについては、各教員より説明する。								
授業アンケート への対応	各教員の授業に対するアンケート結果をふまえ、それぞれの教員が改善に努める。								
備考	授業計画については、1人の教員が担当する7～8回の授業をひとまとまりとして、クラスによって実施順序が異なる。								
更新履歴	20120329 新規								